

第 61 回日本眼感染症学会

募金趣意書

会 長 戸所 大輔
(群馬大学医学部 眼科学教室)

ご挨拶

謹啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、第 61 回日本眼感染症学会の学会長を務めさせていただき群馬大学医学部眼科学教室の戸所大輔です。歴史ある日本眼感染症学会の大役を仰せつかることになり、身の引き締まる思いです。このような貴重な機会を与えていただいた日本眼感染症学会の理事、評議員ならびに会員の先生方に心より感謝申し上げます。

医学の歴史は感染症との闘いでしたが、眼科も例外ではありません。諸先輩方の多大なご尽力により、さまざまな疾患概念の発見、治療薬の開発、エビデンスの構築、ガイドラインの作成が行われ現在に至ります。しかしその一方、いまだ解決されないアンメットニーズも存在し、また新たな病原体による感染症も次々に出現しています。これらの問題を解決するうえでアカデミア発の知見を結集することはきわめて重要であり、学術集会の役割は大きいと考えています。

今回の学会は Reunion for the future と題し、第 58 回日本眼炎症学会(日本医科大学多摩永山病院 堀純子会長)、第 67 回日本コンタクトレンズ学会(徳島大学大学院医歯薬学研究部眼科学分野 柳井亮二会長)、第 13 回日本涙道・涙液学会(神奈川県立こども医療センター眼科 松村望会長)とともに再びフォーサム 2025 横浜として開催することにしました。特別講演を群馬大学医学部細菌学教室教授の富田治芳先生にお願いし、他にも魅力的なシンポジウムやスキルトランスファーなどの企画をご用意しております。

リゾート感のあふれる 7 月の横浜でお会いできるのを楽しみにしております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

学会運営は参加費をもって賄うべきですが、近年の物価高に加えて更に学会発表、教育には多大の費用がかかるのが現状です。質素節約を旨として運営を行い、参加費を集めましてもまだ多額の不足が予想されます。つきましては、学会開催の趣旨を充分にご理解いただき、何卒貴社のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

諸費用ご多端の折、誠に恐縮ではございますが、諸事情をご賢察の上、何卒ご高配の程、重ねてお願い申し上げます。

なお、拠出いただきました協賛金について、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共催企業様と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて了承いたします。

末筆ながら貴社のますますのご発展をお祈り申し上げます。

謹言

2024年8月吉日

第 61 回日本眼感染症学会
会長 戸所 大輔
(群馬大学医学部眼科学教室)



開催概要

1. 学会名称

第 61 回日本眼感染症学会

※フォーサム 2025 横浜として、第 58 回日本眼炎症学会、第 67 回日本コンタクトレンズ学会総会、第 13 回日本涙道・涙液学会総会と合同開催

2. 組織構成

会 長：戸所 大輔（群馬大学医学部眼科学教室）

副会長：馬場 敏生（群馬県眼科医会 会長）

主 催：群馬大学医学部眼科学教室

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3 丁目 39-22

3. 会 期

フォーサム 2025 横浜 2025 年 7 月 11 日（金）～13 日（日）

第 61 回日本眼感染症学会 2025 年 7 月 11 日（金）～12 日（土）

4. 会 場

パシフィコ横浜 会議センター

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1

5. 開催計画の概要

1) 日程表

日 程	朝	午 前	昼	午 後	夜
7 月 11 日 （金）	—	開会式、 一般講演	ランチセミナー	総会、学術奨励賞受賞講演、 一般講演、シンポジウム	—
7 月 12 日 （土）	モーニングセミナー	一般講演、 特別講演	ランチセミナー	特別講演、合同シンポジウム、 一般講演、閉会式	イブニングセミナー、 塗抹検鏡 スキルトランスファー

2) プログラム(予定)

- ・ 3 学会（第 61 回日本眼感染症学会/第 58 回日本眼炎症学会/第 67 回日本コンタクトレンズ学会総会）
合同シンポジウム「Microbiome and ocular diseases」
- ・ 特別講演
富田 治芳（群馬大学医学部細菌学教室教授）
- ・ シンポジウム
- ・ 学術奨励賞受賞講演
- ・ 一般講演
- ・ JAOI 塗抹検鏡スキルトランスファー

3) 参加予定数

約 2,100 名（フォーサム 2025 横浜として）

6. 収支予算

収入		支出		
収入項目	金額	支出項目	金額	備考
1. 参加費収入	¥5,477,500	1. 事務局関係費	¥3,910,517	
2. 共催費収入	¥4,638,333	2. 製作関係費	¥1,429,500	
3. 広告費収入	¥1,728,167	3. 招待者関係費	¥986,791	
4. 出展費収入	¥1,369,500	4. 会場費・施工費・会議費	¥8,267,225	
5. 雑収入	¥20,600	5. 運営要員人件費	¥1,159,750	
6. 寄附金等	¥6,105,000	6. 映像機材関係費	¥1,567,500	
		7. Web開催関係費	¥1,065,550	
		8. 業務管理費	¥385,000	
		9. 予備費	¥567,267	
収入計	¥19,339,100	支出計	¥19,339,100	

7. 寄附金募集要項

- 1) 募金の名称 第61回日本眼感染症学会
- 2) 募金目標額 6,105千円(経費総額 19,339,100円)
- 3) 募金期間 2024年8月26日～2025年7月10日(会議前日まで)
- 4) 寄附金の用途 第61回日本眼感染症学会の準備及び運営の費用に充填
なお、拠出いただきました寄附金は各社が公表する事について了承致します。
- 5) 寄附金の申込先・振込先
オンラインによる受付となります。
国会ホームページ (<https://convention.jtbcom.co.jp/fs2025/>) の、[協賛申込] ページより、お申込みください。
なお、ご寄附をいただきました企業様には、プログラム抄録集への企業名記載を予定しております。

申込締切日：2025年7月10日(木)

<寄附金振込先>

東和銀行 前橋北支店 (店番：012)
普通預金 3454422
第61回日本眼感染症学会 会長 戸所 大輔
(ダ イロジ ャイ ヲカニホカ ンカンセンヨウガ ヲカ イ カイヨ ト コ ヲ イカ)

- 6) 税法上の取扱い 寄附金に対する免税措置はございません。

8. 寄附お問合せ先

第61回日本眼感染症学会 運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部内
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル8階
E-mail: fs2025-sponsor@jtbcom.co.jp TEL:06-4964-8869
※お問い合わせは、原則E-mailでお問い合わせいただきますようお願いいたします。

フォーサム 2025 横浜

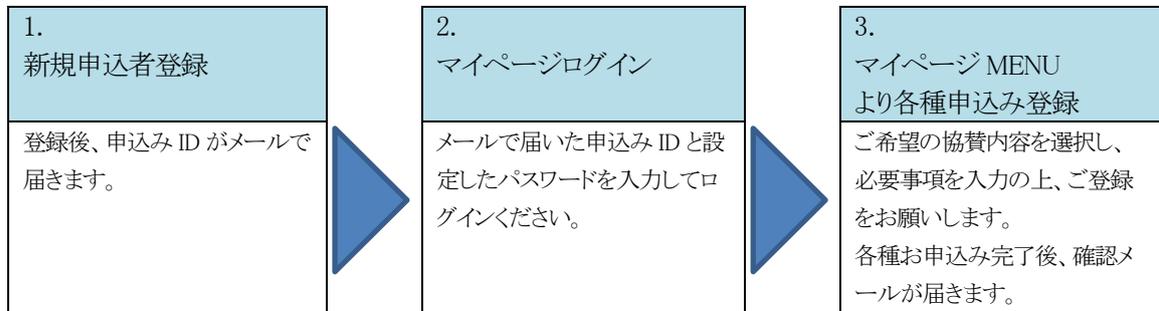
(第 61 回日本眼感染症学会、第 58 回日本眼炎症学会、第 67 回日本コンタクトレンズ学会総会、第 13 回日本涙道・涙液学会総会)

協賛申込(オンライン)について

フォーサム 2025 横浜の各種協賛申込みは、オンライン登録にて受付いたします。
FAX の未着、お申込情報の誤入力等を防ぐため、お手数ではございますが、オンライン登録にご協力頂きたいお願い申し上げます。
インターネット環境のない場合は、運営事務局までお問合せください。

国会ホームページ内「企業の皆様へ」より、ご登録をお願いいたします。
ホームページ URL: <https://convention.jtbcom.co.jp/fs2025/>
※2024 年 8 月 26 日(月)公開予定

<お申込みの流れ>



※推奨ブラウザ

MicrosoftEdge 最新版、Firefox 23.0 以降、Chrome 28.0 以降

※個人情報の利用目的

お名前、メールアドレス等の個人情報は、協賛申込に関して、請求書、領収書、本件に関する連絡以外の目的には利用しません。又、個人情報は第三者へは開示いたしません。

【お問合せ先】

フォーサム 2025 横浜 運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局内
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTBビル 8 階
E-mail: fs2025-sponsor@jtbcom.co.jp TEL:06-4964-8869
※お問い合わせは、原則E-mailでお問い合わせいただきますようお願いいたします。